

学術業績

論文発表

- 1) Iwade T. et al: Retroperitoneal teratoma with obstructed hemivagina and ipsilateral renal agenesis (OHVIRA) syndrome in infant. J Ped Surg Case Report, 75: 102104, 2021.
- 2) 大野耕一 他：尿膜管遺残. 小児外科、52：1040-1043、2020.
- 3) 岩出珠幾 他：腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術におけるラリンジアルマスク（プロシール®：LMA-ProsealTM）の有用性の検討. 日小外会誌、56：921-925、2020.
- 4) 岩出珠幾 他：腹腔鏡下噴門形成術中に消化管穿孔を起こした1例. 小児外科、52：1185-1190、2020.
- 5) Iwade T. et al：Submandibular dermoid cyst resembling a plunging ranula. J Ped Surg Case Report, 63: 101661, 2020.
- 6) 林 宏昭 他：新生児外科患者への術前・術後抗菌薬使用. 小児外科、52：73-76、2020.
- 7) 林 宏昭 他：肝嚢胞（開窓術）. スタンダード小児内視鏡外科手術 押さえておきたい手技のポイント、pp246-247、メジカルビュー社、東京、2020.
- 8) 大野耕一：ガストログラフィン投与（注腸と胃内投与）. with NEO 編集委員会編；新生児医療 67 の臨床手技とケア. pp141-144, メディカ出版, 大阪, 2019
- 9) 大野耕一：尿膜管遺残. 土岐 彰 編：臍の外科. pp 101-104, メジカルビュー社, 東京, 2018.
- 10) 高田斉人：巨大臍ヘルニアの手術：スリットスライド変法. 土岐 彰 編：臍の外科. pp 46-48, メジカルビュー社, 東京, 2018.
- 11) 高田斉人：臍窩Z型切開法. 土岐 彰 編：臍の外科. pp 156-159, メジカルビュー社, 東京, 2018.
- 12) 高田斉人 他：スリットスライド変法. 小児外科, 50：347-350, 2018.
- 13) 大野耕一 他：重症心身障害者の移行期医療における小児外科医の役割. 小児科臨床、71：514-520、2018.
- 14) Yoshitoshi-Uebayashi EY, et al: Modelling urea-cycle disorder citrullinemia type 1 with disease-specific iPSCs. Biochem Biophys Res Commun, 483: 613-619, 2017.
- 15) Ohno K et al: The long term results of implantable central venous access devices in infants. Pediatr Int, 58: 1027-1031, 2016.
- 16) 大野耕一：漏斗胸の術後再発と術式選択・適応【Ravitch法とNuss法の適応を考慮し、患者に説明した上で術式を決定】. 日本医事新報, 4787: 59-60, 2016.